

「静寂のマウンド」の授業から

静寂(せいじゃく)… 静まりかえっていること。ひっそりとしてもものさびしいこと。

道徳の時間に「静寂のマウンド」という授業をしました。メインの教材はNHKのビデオ映像(約15分)です。この映像の主人公は、中日ドラゴンズ(当時)の投手・石井祐也選手です。(石井選手は、その後、球団を移転し、現在は「日本ハムファイターズ」に所属しています)。

石井裕也さんは、先天性(生まれつき)の難聴で、左耳は全く聞こえず、右耳も補聴器でかすかに聴こえる程度です。

そんな彼が、そのハンデを克服して、どのようにしてプロ野球選手になっていったのか。そんな本物の物語を視聴し、考えてみました。



現在の石井祐也選手

耳が聞こえないと困ることは何でしょう

直接的には

- ・テレビなどの音が聞こえない。
- ・まわりの言っていることがわからない。
- ・地震の時のアナウンスが聞こえない。
- ・聞きたい話が聞けない
- ・チームの人たちの指示が聞こえない。
- ・人の声や物音が聞こえない。

間接的には

- ・ふつうにしゃべれない
- ・言葉が覚えづらい。
- ・うまく話せない。
- ・非常時の時に困る。
- ・地震や火事の時などに、逃げ遅れるかも知れない。
- ・音楽を楽しめない。
- ・話が通じない。会話しにくい。
- ・勉強とかを覚えにくい。
- ・「～して」とか言われても、そのことができない。



石井さんはなぜプロ野球選手という夢をかなえられたのでしょうか。

- ・努力したから ・熱中したから ・あきらめない心があったから
- ・負けず嫌いだから ・自分の好きなことをやり続けたから。
- ・夢をあきらめない気持ちをずっと持っていたから
- ・信じる力があったから ・たくさん練習をしたから
- ・野球が好きだから ・野球が上手だったから
- ・難聴を逆に利用したから
- ・難聴で苦勞したこともあったけど、それをいい方に生かしたから。
- ・強い意志があったから
- ・小さいときから野球が好きで、「将来、プロ野球選手になる」と言
って、努力してきたから。



自分が「がんばっていること」や「心がけたいこと」は何ですか？

授業の最後に、「自分が今がんばっていること」と「そのために心がけていること」について書いてもらいました。

- 宿題を忘れずにやっている…そのために、家に帰ったらすぐにやるようにしている。
- 宿題を忘れない…帰ったらすぐにやっている。
- 忘れものをしない…前日に確認をして忘れないようにする。
- バトミントン…毎日素振りをしている。
- バトミントン…心がけていることは、練習に集中すること。
- 柔道が強くなりたい…そのためには…
- 野球…道具の手入れをしている。努力をしている。→もっとうまくなる。
- 野球…毎日練習する。
- 野球…そのために石井さんみたいに努力する。
- 野球…もちろんプロ野球選手になりたい。そのために人一倍練習する。
- バスケット…リバウンドをとる。
- 習字…がんばりたい。
- 絵を描く…もっと絵をうまくなるようにがんばる。
- トランポリン…来年のテストで1級に合格したい。種目を間違えないように覚える。
- 剣道…心がけていることは、大きな声で発声して、自分を信じて思いっきり打つこと。
- 剣道…自分を信じて思いっきり試合をしたい。
- ピアノ…発表会などで家族をよろこばせたい。
- ピアノ…将来に生かせたらいいと思います。
- ピアノ…練習をする。忘れないで必ず行く。
- じいちゃんの家に行く…月3回くらい、じいちゃんの家に行くと、じいちゃんとはあちゃんを喜ばせている(私が来るだけでもうれしいらしい)。